

令和２年９月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和２年９月 25 日（金）
開 会 午前 9 時 30 分
閉 会 午前 11 時 00 分
- 2 会 場 茅野市役所 8 階 大ホール
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 濱 勝之 教育委員 永嶋 陽子
教育委員 勅使川原 はすみ
- 出席者 こども部長 有賀 淳一 生涯学習部長 北沢 政英
こども課長 五味留美子 幼児教育課長 柳澤 澄子
学校教育課長 五味 正 生涯学習課長 藤森 隆
文化財課長 五味 健志 スポーツ健康課長 中村 浩明
こども係長 宮下 孝 教育総務係長 立石 淳二
教育総務係主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 2 名

9月定例教育委員会次第

日 時 令和2年9月25日（金）午前9時30分から

場 所 市役所 8階大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）文化財の指定解除について

5 検討事項

今回はありません

6 その他

（1）市議会9月定例会一般質問について

（2）市議会9月定例会議決結果について

（3）縄文文化賞の受賞について

（4）特別史跡尖石石器時代遺跡第2期整備基本計画について

（5）臨時教育委員会について

（6）教育委員会事務局職員の人事異動について

（7）その他

次回定例教育委員会日程について

	10月29日(木)	9時30分「203会議室」
(事務局会議	10月14日(水)	9時00分「705会議室」

7 閉会

教育長

只今から9月定例教育委員会を開催します。

前回8月の会議録承認について確認します。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございます。

報告事項に入ります。報告事項第1号の資料をご覧ください。

9月は議会が中心で、会合は少ない状況でした。

9月7日に文化財審議会の諮問がありました。白山社の大柏樹が倒木してしまったことによる、文化財の指定を解除するかどうか諮問をいたしました。

8、9、10、11日は議会がありました。

14日は教職員組合の要望書提出がありました。

16日は読書ボランティアの交流集会と文化財審議会から7日の諮問に対して、市文化財指定を解除することについて答申がありました。また、現地視察も併せて確認をしてきました。

18日は議会の最終日でした。

24、25日は、やつがね祭、銀杏祭があります。

30日は地域経営会議とコロナ対策本部会があります。

報告は以上となります。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に各課から報告事項第2号についてお願いいたします。

[各課から10月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]
資料（報告第3号）

教育長

報告事項についてご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

ありがとうございました。

次に議案第1号「文化財の指定解除について」をお願いします。

文化財課長

議案第1号の資料をご覧ください。

茅野市指定天然記念物「白山社の大柏樹」ですが、先の7月定例教育委員会でご説明したとおりですが、本年7月5日の夜間に根元から折れる事案が発生しました。茅野市文化財保護条例に基づいて、所有者である須栗平区より滅失届が提出されましたので、茅野市文化財指定の解除について、茅野市文化財審議委員会に諮問したところ、「文化財指定を解除することが適当である」との答申をしていただきました。

従って、答申通り指定の解除をしてよろしいかお諮りいたします。

尚、ご承認いただけましたら、速やかに告示し、所有者へ通知いたします。

審議会委員の皆さまからは、資料の裏面になりますが、文化財保護に関するご意見を伺っておりますので、今後の文化財保護行政に活かしていきたいと思っております。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありましたらお願いします。

全委員

なし。

教育長

指定の解除について、ご承認いただけますでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。指定の解除については、承認となりました。

次にその他1「市議会9月定例会一般質問について」お願いします。

こども部長

その他1の資料をご覧ください。

教育委員会に対しまして、令和2年9月定例市議会一般質問で、6名の議員さんから7件のご質問をいただきました。回答要旨について、ご説明させていただきます。

伊藤玲子議員から、コロナ禍における子ども達への支援についてご質問をいただいております。

小項目として、1子どもたちの不安や困っていることに寄り添えているか。2今年度の学校行事について。3保護者や子ども達が得た教訓や意見を聞き取り、今後の教育環境の構築のために活かしていくことについて質問をいただきました。

回答要旨について1では、子どもたちの不安や困りごとについて、「寺子屋タイム」を日課に位置付け、実施してきた。

また、市教委作成の「子どものこころのケアのためのガイドライン」や「休校中の悩みのアンケートシート」を活用し、相談等を行ってきた。

あわせて保護者の懇談会を実施した。現在のところ、「育ちあいちの」や外部機関とつながり、支援を受けているという事例もある。

今後も「寺子屋タイム」の活用と「育ちあいちの」との連携体制の中で、子どもたちの不安や困りごとに寄り添っていくと回答させていただきました。

2につきましては、文部科学省の方針「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～Ver3」に基づき、感染症予防策を取りながら、地域の状況に合わせて、行事の規模や参集者等に配慮し、保護者への丁寧な説明と、納得のもと、できる限り実施をすると回答をさせていただきました。

3につきましては、「寺子屋タイム」を活用し、全児童生徒と個別面談を、保護者とも個別懇談会を行い、ご意見や要望などをお聞きしている。休校中も担任の家庭訪問や電話連絡を通して、お聞きしてきた。

引き続き、子どもや保護者のみなさんの声をお聞きしながら、丁寧な対応をしていくと回答をさせていただきました。

続いて、両角実晃議員より自転車の交通安全対策について、全体の項目としては4項目ありますが、教育委員会関係のものに関しましては、1の自転車の交通安全への取組みについて回答をさせていただきました。こちらの質問も全体の部門も入ってきますが、教育委員会関係に関係する部分のみ要旨をご説明させていただきます。

小中学校での取組については、自転車を対象とした交通安全教室や実地指導、交通安全教室等を年に2回から3回程度行っている。

また、登下校の街頭指導を定期的に行っている。なお、PTAの役員の方々もそれぞれのPTAの判断により街頭指導を、地域のボランティアの方々も、見守りを行っている。

自転車の乗り方については、小学校3年生以上を対象とした交通安全教室を実施。市、警察、交通安全協会、交通安全教育支援センターから講師を招くなどして、ヘルメットを着用することや点検の必要性、自転車の正しい安全な乗り方やマナーについて学んでいる。

毎年、各家庭に「自転車安全点検表」を配布し、各家庭において点検をしていただくよう依頼をしている。

学区外に出ないことや、危険な場所については、自転車に乗らないことを指導、周知している。公道で自転車に乗ることができるのは、小学校3年生以上になってからということも、保護者へお願いしていると回答をさせていただきました。

続いて、机博文議員から学校給食における地産地消について、5項目の質問をいただきました。

1つ目として、地産地消と食育への取組について。2つ目として、給食地場産連絡会での現状と課題について。3つ目として、子どもたちとの交流機会について。4つ目として、直売所との連携について。5つ目として、今後の展開と助成の考え方についてです。

1つ目につきましては、第2次茅野市食育推進計画に基づき、給食における地場産食材の活用や体験活動、郷土食の取入れなど、取組みを行っている。

また、農協の食育イベントへの園児の参加、買い物体験、農協の集荷場の見学など、農協との連携も深めている。

地場産食材の活用については、地場産団体の協力を得て、地元の旬の食材を提供いただいていると回答をさせていただきました。

2つ目として、年に1度、地場産団体の代表者と学校栄養士、幼児教育課栄養士が集まり、地場産連絡協議会を開催している。会議の中では、年間の出荷見込みや使用量について打ち合わせ、今後の課題についても話をしている。

団体の高齢化や後継者不足、人手不足により搬送する人がいないなどの課題が挙げられていると回答をさせていただきました。

3つ目として、地場産団体との交流としては、野菜のつくり方の指導や生産者の方の苦労や工夫を聞いたりしている。また、生産者の方と交流給食を行ったりしながら、学校・保育園での食育を進めている。

学校・保育園だよりやビーナチャンネルなどで交流の様子を紹介しながら、地場産納入者の増にもつなげていきたいと考えていると回答をさせていただきました。

4つ目として、地場産野菜が少ない時期などは、市内の食品業者から購入している。また、地域の農家等市内の生産者からも購入している。旬の野菜を旬の時期に活用していく目的は果たせているので、現在のところ、直売所との連携等を行っていないと回答させていただきました。

5つ目として、1番の課題として、団体の高齢化による後継者不足だと考えている。広

報ちのなどによる会員の募集も行っているが、なかなか人が集まらない状況。

農林課とも連携して、個人の生産者への声掛けなどを行いながら、団体に加入していただける方を増やしていきたいと考えている。

また、子どもたちが学校から出て、人手不足の農家の作物づくりのお手伝いをするなど、新たな方向性をつくっていききたいと考えている。

なお、食材を運搬する人の不足も課題となっているが、学校用務員に運搬をお願いしているケースもある。団体の状況に応じて、運搬方法や運搬者の手配を考えていくと回答させていただきました。

生涯学習部長

続いて、生涯学習部関係についてです。

伊藤勝議員から指定文化財の保護管理についてご質問をいただきました。

小項目として1つ目が、文化財指定、解除の考え方について。2つ目が指定文化財の保護管理は誰なのか。3つ目が保険や補助金交付の考え方についてご質問を受けました。

1つ目について、茅野市は、昭和40年文化財保護法に基づき「茅野市文化財保護条例」を制定。市の文化財指定が可能となった。令和2年9月1日現在、市指定文化財は、国指定9件、県指定19件、市指定が76件の計104件。内訳は、建造物、彫刻、書跡、古文書、考古資料、芸能、信仰、風俗慣習、古墳、城跡、名勝地、動植物等と多岐に及ぶ。

指定を受ける文化財の所有者が教育委員会に申請し、学識経験者で構成する茅野市文化財審議委員会に審議を諮問。審査を行い、指定を答申する。指定の解除は、文化財滅失、き損等、文化財の価値を失う事例が発生した場合、教育委員会が市文化財審議委員会の意見を聴き、指定の解除を行う。

教育委員会は文化財の指定又は解除をするだけでなく、指定文化財の所有者に対して、その管理、保存及び活用について必要な指示又は助言を行うと回答をさせていただきました。

2つ目について、保護管理者は、指定文化財の所有者。管理を保存会が所有者に代わり行う事例もあると回答をさせていただきました。

3つ目について、自然災害等による指定文化財の損壊、及びこれに伴い他者の財産に損害を与えた場合、所有者が対応する。保険加入は、万が一に備え必要に応じて所有者に加入していただく。

補助金交付について、文化財の管理、保存及び活用に必要な経費の一部を所有者又は管理者に補助する。対象事業は、指定文化財の修理、又は指定文化財を管理するために必要と認められる防災施設、保管施設等の設置及び環境整備に限定。補助金は、草刈り枝払い等の日常的な環境整備に活用され、整備の際に文化財の現状把握も行われる。

指定文化財の所有者及び管理者、地域の皆さまとかけがえのない地域の宝の保護を行っていくと回答をさせていただきました。

こども部長

次に木村かほり議員からご質問をいただいております。妊娠前から子育て期の切れ目のない支援体制について、全体で3項目ありますが、(2)につきましては健康福祉部関係になりますので、(1)(3)についてご説明させていただきます。

(1)は、「育ちあいちの」、保健福祉サービスセンターなどでの相談体制について。(3)は、少子化における婚活活動支援と家庭支援についてです。

(1)について、市の子育て支援体制は、こども課に設置された、「育ちあいちの」と健康づくり推進課に設置された「母子健康包括支援センター」が緊密に連携し、一体的に支援を実施する「子育て世代包括支援センター」として活動している。

お互いに情報共有し、こどもの発達段階や家庭の状況に応じて、継続した支援を実施している。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、今後も「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供し、きめ細やかな相談支援を継続するとともに、こどもの健やかな育ちを支援していくと回答をさせていただきました。

(3)について、家庭支援については、「育ちあいちの」で、妊娠期から全ての子ども家庭の支援拠点として、総合相談窓口を設け業務にあたっている。

それぞれの専門職が、職務の特性を生かしながら多面的に、チームで1つの家庭を支援していると回答をさせていただきました。

尚、婚活支援の件につきましては、市長部局の回答となりますので、割愛させていただきます。

続いて、同じく木村かほり議員からコロナ禍での学びの保障と多様な学びへの取組について3項目のご質問をいただいております。

1つ目が3月からの休校による影響と今後について。2つ目が多様な学びの取組の現状と今後について。3つ目が学校外での学びの場についてです。

1つ目について、文科省から、「学校教育は、教師から児童生徒への対面指導、児童生徒同士の関わり合いを通じた、協働的な学びにより行われるものである」と示された。「主体的・対話的で深い学び」を推し進めるために、指導方法の工夫・改善を行うことも求められている。

学校でしかできない学習活動に重点化、限られた授業時間の中での効果的な指導、年間計画の見直しを行うとともに、学習指導員、学習支援員、スクールサポートスタッフの配置による人的支援を行ってきた。

さらに、ICTの活用や各学校の工夫や取組みにより、学習進度は7月末現在で、概ね90パーセント前後まで回復してきている。

学校行事についても、感染症予防策を取りながら状況に合わせて、実施内容や実施方法を検討している。

「茅野市ＩＣＴ教育推進計画」の第２次の計画を定め、オンライン教育についても、加速度化を図っていく。

国の「ＧＩＧＡスクール構想」における整備に加え、臨時休業等においても、ＩＣＴの活用できるよう整備を進めている。教職員に対しても研修を実施してきた。

ＩＣＴ教育のこれからの課題は、子どものために「主体的・対話的で深い学び」の方向に沿った授業を、どのように行うかということ。そのために、授業の具体的指導のできる講師の人選を検討していると回答させていただきました。

２つ目について、多様な学び創造事業を進めるにあたり、推進委員会の設置を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、設置が困難な状況。

八ヶ岳総合博物館、中央公民館、図書館を会場として、夏休み中に小中学生が参加できる「夏の子ども体験教室」を開催した。また、小学５・６年生を対象に「イングリッシュ・デイ・キャンプ」を開催した。

今後進めていく多様な学び創造事業のパイロット的な位置づけとし、取り組みや成果を活かしていきたいと回答させていただきました。

３つ目について、文科省の指針に従い、長期にわたる一斉の臨時休業は想定していない。学校外への場の設置も今のところ考えていない。

今後オンライン学習等を実施する場合に、次の３点について準備を進めている。

１つ目として、オンライン学習と対面学習、協働学習をバランス良くつなげて、活用をしていくことの研究。

２つ目として、家庭でオンライン学習をする場合に、子どもたちが自主的に使えるように、日頃の学校の授業の中で、利用法、活用法について学習をしていく。

３つ目として、家庭においてインターネット環境が整っていない児童生徒には、Wi-Fiルーターを市で整備する。また、市内の公共施設を利用するなど、学びの場を確保すると回答させていただきました。

最後に望月克治議員から小中学校における感染症防止対策について、５項目のご質問をいただいています。

１つ目が感染症対策に必要な物品は十分供給できているか。２つ目が学校内で対応をする保健室の設備は整っているか。３つ目が学校での急な発熱時に、どのように対応することになっているか。４つ目がインフルエンザの流行が重なった場合の対応は検討しているか。５つ目が学校内での感染対策を充実し、教職員の負担軽減をするためにも、養護教諭の２名体制をとることはできないかということです。

１つ目について、症対策の消耗品については、学校教育課で購入し、各校へ配布してきた。また、各種団体から、消毒用アルコール等の寄付もいただき、賄ってきた。各校からの要望には基本的に応えることができた。

文科省による「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」に則り感染症予防対策をとっている。８月６日版のマニユ

アルにおいては、ポイントを絞った清掃や消毒、熱中症対策を考慮したマスクの取り扱いなど変更点もでてきている。

さらに、第4号補正予算において成立した消耗品費を学校に配分した。従って十分な供給が可能となっていると回答させていただきました。

2つ目について、保健室は、体調の悪い児童生徒の休養場所とし、教室以外で相談や休憩をしたい児童生徒については、相談室等を活用してもらうことでゾーニングを明確にし、感染を予防している。

また、ソーシャルディスタンスをはかるためのゾーンを設け、手指消毒とマスクの着用を徹底し、室内は、パーテーションや、ベッドカーテンで仕切り、個別対応できるよう工夫をしている。枕やシーツについても、タオルを併用し、その都度交換し、使用後の消毒を実施している。

今後必要になってくる物品等についても、各学校の判断で購入することが可能と回答させていただきました。

3つ目について、学校内での急な発熱等に関しては、「学校の新しい生活様式」及び「県立学校再開ガイドライン」を参考に対応をとっている。

なお、中諷養護委員会において、罹患者等が発生した場合を想定し、実際の流れをシミュレートしてみる研修を行った。市内全校の養護教諭が参加し、情報の交換や共有を図り、日常に活かしていくこととしていると回答させていただきました。

4つ目について、新型コロナウイルス感染症と、季節性インフルエンザの感染予防対策は、共に手洗い・うがい・マスクの着用・共有箇所の消毒等。これらを徹底することで季節性インフルエンザの感染予防にもつながると考える。

感染症に基づく出席停止の件数は、今年度6月から7月までの合計が11件、昨年度同時期が106件。日常的な感染予防の徹底が重要であることが、この数字を見てもわかる。

学校における感染症対策につきましては、専門家による最新の知見や、文科省のガイドライン「学校の新しい生活様式」に基づいた対応をとっていくことになる。なお、今までと同様に学校医との相談指導を密にし、また、ケースによっては県の保健厚生課の指示を受け、対応していくと回答させていただきました。

5つ目について、2学期から、全校にスクールサポートスタッフを配置した。養護の先生方からも、大変助かっている、ありがたいとの声をいただいている。

発熱とけがの両方に対処しなくてはならないような場合については、優先すべき状態の方から、順次対応をすることで、大きな問題は生じていないと聞いている。また、症状が重い場合は、部屋を分けることや、応援体制を取ることも、校内で共有されている。

現在のところ市単独での増員は困難であり、考えていないが、国や県からの助成等が整備された場合は、積極的に活用していきたいと回答させていただきました。

その他1については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他2「市議会9月定例会議決結果について」お願いします。

こども部長

その他2の資料をご覧ください。

9月定例会議決結果についてです。教育委員会に関係する部分についてご説明させていただきます。

議案第45号茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについては、前回の教育委員会でご説明申し上げましたが、8月6日に同意をいただいています。

続いて、議案第47号茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についても、前回説明をさせていただきましたが、令和2年9月18日に可決をいただきました。

続いて、議案第48号令和2年度茅野市一般会計補正予算（第5号）について、こちらも同日に可決をいただきました。

続いて、議案第50号令和元年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について、こちらも同日に認定をいただきました。

2ページ目をご覧ください。議案第59号の財産の取得については、後ほどご説明させていただきます。こちらは、9月18日可決をいただいています。

請願、陳情等については、陳情4として、感染症流行時や災害発生時の「学びの保障」について検討する会議の設置を求める陳情は不採択となっています。

3ページをご覧ください。議案第59号財産の取得について、ご説明させていただきます。

こちらは、小中学校のタブレット端末購入に関するものです。2千万円を超える物品の購入につきましては、議会の議決が必要となります。

次のとおり、財産の取得をしたいので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

資料説明 その他1

【概要】

財産の取得について

- 1 調達件名 令和2年度茅野市内小中学校情報機器
- 2 物品名及び数量 タブレット端末 3,279 台
スピーカーフォン 79 個
Web カメラ 79 個
収納キャビネット 115 台
- 3 取得の目的 市内小中学校の生徒、教師が授業等で使用するタブレット端末等の購入
- 4 取得の方法 指名競争入札
- 5 取得予定価格 金 215,600,000 円
- 6 契約の相手方 長野県松本市白板2丁目4番14号
セイコーエプソン（株）松本事業所内
エプソン販売株式会社 松本支店
支店長 河邊 大介

続いて、4 ページ目の資料1をご覧ください。物品調達の仮契約書になります。

茅野市議会の議決があったときは、この契約書を地方自治法第234条第5項に規定する契約書とみなし、信義に従って誠実にこれを履行するものということで、議決後に締結ということになります。

続いて、5 ページ目の資料2をご覧ください。仕様書についての資料となります。（1）がタブレット端末について。（2）がスピーカーフォンについて。（3）がwebカメラについて。（4）が収納キャビネットについてです。

続いて、7 ページ目の資料3をご覧ください。こちらは入札経過調書についてですが、入札結果として、13 者を選定し、応札を行いました。結果的に辞退が多く、2 者の入札という形になっています。

尚、入札には4 者が参加し、その内の2 者が辞退という札を入れてきた状況です。その他の9 者については、事前に辞退の申し出がありました。

Wi-Fi ルーターについては、こちらの資料に記載はありませんが、この後、仕様書を作成し、入札を行う予定となっています。

その他2 については、以上です。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

勅使川原委員

仕様書を見るとタブレットの保証期間が1年間となっています。1年間使用後は、実費で修理をすることになるのでしょうか。

学校教育長

後ほど調べてご説明させていただきます。

教育長

他にご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他3「縄文文化賞の受賞について」お願いします。

文化財課長

縄文文化賞について、ご説明させていただきます。

今回は経過報告になりますので、資料はございません。

本年度で第21回目となる尖石縄文文化賞ですが、毎年、信濃毎日新聞社様及び公益財団法人信毎文化事業財団様にご後援をいただき実施しております。

6月から7月にかけて公募等を行い、7名の方を候補対象者とさせていただきました。

8月18日に選考委員会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面での選考とさせていただきました。

現在、委員の皆様からご意見をいただき、受賞候補者を選考しております。今後、10月上旬には選考委員会から受賞候補者について市長に答申をしていただいた上で受賞者を決定し、11月に授賞式を開催する方向で準備を進めております。

10月定例教育委員会において、受賞者のご報告をさせていただく予定です。

その他3については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他 4「特別史跡尖石石器時代遺跡第 2 期整備基本計画について」をお願いします。

文化財課長

その他 4 の資料をご覧ください。

特別史跡尖石石器時代遺跡整備基本計画の策定について、今回は計画策定の背景、計画の位置づけ、計画案について、主要な点に絞って概要をご説明させていただきます。

尚、9 月 2 日に開催されました市議会全員協委議会において、同様の説明をさせていただいております。

計画策定の背景について、特別史跡に対する認識と策定に至る経緯の 2 点についてご説明させていただきます。

2 ページをご覧ください。特別史跡は遺跡の「国宝」であるということです。文化財保護法等では、貝塚、古墳、都城跡、城跡旧宅等で、我が国にとって、歴史上または学術上価値の高いものを「史跡」として国が指定し、その中で学術上の価値が特に高く、我が国文化の象徴たるものを「特別史跡」に指定するとしています。

縄文時代の特別史跡は全国で 4 箇所のみであり、尖石石器時代遺跡は縄文時代の遺跡として、日本で最初の特別史跡に指定されました。参考として、特別史跡は姫路城、高間塚古墳、五稜郭など全国で 63 箇所ありますが、長野県には 1 箇所のみです。尚、史跡は全国で 1,795 箇所あります。従って茅野市は国宝土偶 2 体と合わせ、遺跡の国宝である特別史跡も合わせて 3 つの国宝があるということを、まずご認識いただきたいと思います。

次に本計画の策定に至る経緯ですが、これまで平成 5 年度に策定した「特別史跡尖石遺跡整備基本計画」に基づいて整備を進めてきましたが、各史跡ごとの保存管理計画が必要であるとの文化庁の指導もあり、平成 27 年度に「特別史跡尖石石器時代遺跡保存管理計画」を策定しました。その中で、これまでの史跡整備に関する課題を整理し、保存管理計画に基づいて、20 年後を見通した長期的視点に立ったアクションプランが本計画となります。

策定にあたっては、平成 30 年度から国学院大学名誉教授の小林達雄先生はじめ、7 名の委員からなる有識者会議でご意見を伺い、文化庁及び県教委のご指導をいただきながら進めてきました。令和元年 11 月 15 日に開催した会議において内容については概ね了承をいただいております。

3 ページをご覧ください。計画の位置づけについて 4 点ご説明させていただきます。

まず、茅野市第 5 次総合計画を最上位計画とし、上位計画に基づく保存活用に向けたアクションプランとなります。各種施策とも連携・整合を図り、史跡の保存活用を目指すことになります。

4 ページをご覧ください。計画期間は令和 3 年度から令和 12 年度までの 10 年間とします。

予算の繰越事業でもあり、10 月末の策定に向けて準備を進めています。

また、20年後の姿を見据えた整備となっており、第2期整備は主に史跡内の緊急的な整備及び環境整備の具体的な内容とスケジュールを明示いたします。

次の令和13年度から令和22年度までの10年間を第3期整備と位置づけ、史跡全体の価値を高めるための史跡内外の整備方針を明示する予定です。

次に5ページをご覧ください。第3期整備の令和22年度までを想定した構想図を示しておりますので、ご覧いただきたいと思います。

続いて、計画の主な内容について5点説明させていただきます。

6ページになりますが、計画の名称は、「特別史跡尖石石器時代遺跡第2期整備基本計画」とします。キャッチコピーとして「自然に彩られるムラ、5千年の音色につつまれる縄文のたたずまい」とします。ただし、縄文の打ち出し方については、通称とするかも含めて現在検討中です。

計画の構成ですが、全体を7章とし、130ページ程度になる見込みです。

7ページをご覧ください。主な整備内容について、5点に亘って概略を説明させていただきます。まず、史跡の保存についてですが、尖石史跡南側の尖石さま周辺斜面の保護及び与助尾根遺跡南斜面の保護を行ってまいります。

8ページをご覧ください。集落の復元についてですが、谷部地区縄文の水場の創出及び与助尾根地区集落エリアの住居建替えを含む整備をしてまいります。

次に園路及びサインについてですが、園路のバリアフリー対応及びサインの多言語化を図ってまいります。

9ページをご覧ください。植生管理ですが、縄文中期の尖石・与助尾根の植生復元を目指し、市道甲1号線沿い及び尖石地区南斜面のカラマツ伐採を行っていきます。

最後に史跡の保存を前提とした活用ですが、史跡マップの作成と史跡外になりますが、考古館屋外トイレの改修を進めてまいります。

10ページをご覧ください。以上の整備を計画的に進めていくスケジュールを示してあります。こうした整備により期待される効果として、史跡の適切な保存と確実な継承及び活用による地域の魅力向上、来訪者増が考えられます。

第2期整備では、国宝としての特別史跡を磨くことに取り組んでまいりたいと考えております。

今後10月末の策定を目指して、文化庁との協議及び最終校正を行い、市長決裁委を経て計画書の印刷・発行に向けて取り組んでまいります。

発行は茅野市及び茅野市教育委員会となります。

その他4については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

矢崎職務代理者

素晴らしい計画だと思いますが、是非、国宝や史跡など素晴らしいものが数多くありますので、世界へ発信できるような工夫もしていただければと思います。

文化財課長

ご意見ありがとうございます。そのような方向に向けて努力してまいりたいと思います。

教育長

ありがとうございました。

次にその他5「臨時教育委員会について」お願いします。

学校教育課長

10月の予定でもご報告させていただきましたが、10月1日の木曜日、朝8時30分から市役所7階の702会議室で臨時教育委員会を開催いたします。

主な内容につきましては、新しい教育委員さんのご紹介と新教育長職務代理者の決定となります。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他6「教育委員会事務局職員の人事異動について」お願いします。

生涯学習部長

10月1日付けで、茅野市の人事異動の内示がありました。例年10月異動は小規模となりますので、口頭でご説明させていただきます。

該当者は生涯学習部のみで、2名の異動となります。まず、教育委員会を出られる方で、現職場がスポーツ健康課スポーツ健康係の矢島友喜主事です。この度の人事異動により企画部秘書課秘書係に異動となります。また、兼務となっており、地域戦略課の地域創生係の仕事も併せて担うことになります。

続いて、教育委員会に来られる方ですが、現職場が会計課会計係の伊藤幸乃主事です。スポーツ健康課スポーツ健康係へ10月1日から赴任することになりました。

その他6については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他 7 について、文化財課長お願いいたします。

文化財課長

修学旅行の受け入れについて、ご報告いたします。

尖石縄文考古館を修学旅行の訪問先として、現在ご予約をいただいている学校が 9 月から 11 月にかけて 15 校あります。須坂市や長野市などから多く来られますが、遠くからは山梨県から訪問いただける予定です。

その他 7 については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に事務局より次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回 10 月の予定を報告させていただきます。定例教育委員会を 10 月 29 日（木）午前 9 時 30 分から 203 会議室で行います。事務局会議について、10 月 14 日（水）午前 9 時から 705 会議室で行います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。矢崎職務代理者さんですが、今月いっぱい退任されます。

4 年間茅野市の教育行政の発展のためにご尽力いただきました。私にとってみると、同じ教員としての良き大先輩であり、また、具体的に何を成すべきかを考えらえていた先生

であったと思います。

ちょうど4年前になりますが、矢崎職務代理者と初めてさせていただいた仕事が武蔵村山で行われた小中一貫教育の全国サミットでした。夜の交流会の後、2人で対話をする機会がありましたが、1つは、先生の働き方改革について話をしました。茅野市の先生たちは非常に一生懸命で忙しく、それをどうやって改善していけばいいのか話し合いました。

2つ目は、矢崎職務代理者から、これからは日本だけではなく、世界に目を向けていく時代だとおっしゃっていました。従って、ユネスコスクールを進めていこうというお話がありました。現在、永明小、永明中、米沢小をはじめとして、ユネスコスクールの動きが始まっています。

3つ目がSDGsについてです。現在のところSDGsという言葉を使っている学校は、1校のみですが、考え方は持続可能な社会づくりとして10年先を見据えて進みはじめています。

いずれにしても、10年先を見据えた茅野市教育のあり方を矢崎職務代理者さんから教えていただき、茅野市の教育を進めていくことができました。

これでご退任となるわけですが、これからも茅野市の教育行政のために是非ご指導をよろしくお願いいたします。

矢崎職務代理者

只今、山田教育長より過分なお言葉、本当にありがとうございました。

4年間、皆様にはお世話になり、大変ありがとうございました。

教育委員会制度が新しくなり、初めての教育長職務代理者としての立場でしたが、よくわからないままスタートをしたことを覚えています。

沢山の出会いがあり、沢山学ぶこともあり、本当に感謝しています。

これからも、ボーイスカウトの関係やユネスコの関係で教育委員会の方にはお世話になると思いますが、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

教育長

ありがとうございました。以上で9月定例教育委員会を閉会いたします。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和2年10月29日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長